

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	おいらせ町家庭教育支援チーム「しるくはあと」
活動開始年度	平成27年度 (自主サークルとしては平成23年度から活動を開始)
活動拠点	おいらせ町立北公民館(木ノ下小学校区) おいらせ町立中央公民館(下田中学校区) おいらせ町みなくる館(百石中学校区)           ほか
活動範囲	おいらせ町内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施
組織体制	<u>8</u> 人 (内訳) 保育士(2人)、元教員(1人)、町職員(2人)、 相談員(1人)、元PTA役員(1人)、ラボサポーター(1人)  《ラボサポーターとは》 ラボサポーターとは、(株)ラボ教育センターが運営する外国語教育団体「ラボパーティー」に登録し、自宅や地域の施設等で英語にふれあう教室を開設する指導者のこと(正式にはラボテューター)。 ※上記組織体制のラボサポーターは、現在教室の開講はしていない。
具体的な活動内容	○子育て中の親の悩みや相談などを受け入れる場として「おしゃべり広場」を開催(平成23年度から) ○座禅会、勉強会、親子で楽しむ魚釣りなどの活動(平成25年度から) ○子ども対象の公民館講座に講師として高橋みのる氏(八戸市在住)のものづくりを提案。講座運営をサポート(平成27年度) ○北公民館文化祭で公立小川原湖青年の家職員を講師に「まが玉づくり」を提案し、運営をサポート(平成27年度)

活動を通して感じていること  
(成果、課題など)

- 親は子育てに悩むことが常であり、その解決策として身近に支援できる場所、人材があることが望ましい。そのひとつとして「しるくはあと」の活動が役立つよう心がけて取り組んでいる。
- 活動の周知がなかなか難しい。
- 行政とのつながりがあることが大変心強い。
- 今後は高齢者の人生経験が子育てに生かされるような世代間交流の場を提供したい。
- 未来の親になる学生、若者たちの学びの場を提供したい。